

新館2階 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	1	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域でのその人らしい生活を支えていく為に、ほんわかハウスでは『入居者お一人お一人が「主人」であり、入居者と職員は生活を共にするパートナーである。入居者お一人お一人の人格が尊重され、個々人のご希望に沿ってありのままに生活する事が出来、日々の生活に喜びと自信を持って頂ける』ことを理念としている。	0	
		2 外部 評価 2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者及び全職員が理念を共有している。理念に即したケアが実践できるようミーティング等で話し合い、ケアの実践にあたっている。理念に関しては、玄関、事務所等の目につく所に貼付し、常に意識することを心掛け、理解できるように努めている。	0	
		3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	来訪時に目に留まるよう、玄関前に理念を貼付している。又、利用契約時、家族会や地域運営推進会議などの機会に説明を行っている。	0	
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	自治会主催の行事参加や、町内清掃にも積極的に参加し、近隣の方とすれ違う際には挨拶をするよう心掛けています。また、年末にはホームの餅つき会に近隣の方にも参加して頂き交流を図っている。ついたお餅を近隣の方におすそ分けするなどして日常的なお付き合いをさせて頂いている。	0	
	5 外部 評価 3	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に属し、一住民として自治会主催の七夕祭りや運動会、敬老会等の行事に参加している。また地域の清掃等にも積極的に参加し、地域の方との交流に努めている。その他にも、中学生の職場体験の受け入れや、子供会の廃品回収の協力をしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 え合との	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	全職員参加のミーティング時に、「地域貢献として何が出来るか」を話し合う場を設けている。現在では地域の幼児に対しての見守り等を行っている。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	1	
	3 理念を 実践す るため の制度 の理解 と活用	7 外部 評価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員全員が評価制度の意義を理解している。評価の結果は真摯に受け止め、ケアの向上の材料としている。	0	
		8 外部 評価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、地域の皆様の予定とあわせながら会議を開催して、ホームでの取り組みの紹介や食事会などを催し皆様からの助言、意見交換を行える場を設けている。会議録は職員間で回覧し、内容を共有する事でサービスの向上を目指している。	0	
		9 外部 評価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる		1	相談は電話にて行っている。運営推進会議の場を借りて、市町村担当者と連携の方法を検討し実践していきたい。
		10 外部 評価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員に関しては研修や勉強会などの機会を設け制度の理解に努めている。またご家族にも家族会などの折を見て、資料の提供や制度の説明をするなどして理解を深めて頂いている。制度の利用が必要な場合には、出来る限りの支援をしている。	0	
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の為に話し合いをする時間を設けたり、適度な休憩や休養を取るなどして職員のストレス軽減にも努めている。また管理者は、職員の心身の状態の把握に努めると共に、疲れ、ストレスの軽減を図るよう配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	理念を 実践す るた めの 体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約時には十分な時間をかけ、利用者、ご家族の不安を取り除きながら理解、納得をして頂いている。契約後に不安な点があった場合や、解約希望時などにはその都度対応させて頂いている。	0	
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者自らが意見、不満、苦情を忌憚なく言う事ができる信頼関係作りに努めている。利用者、またご家族からご本人の気持ちを代弁されて、意見や苦情があった場合には、職員間で話し合い、ご本人の意見、意向を日々の生活の中に反映する事が出来るよう努めている。	0	
		14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来訪された際に近況を報告している。ホームでの生活の写真を綴った個々のアルバムを見て頂いたり、月に1回、写真付の手紙をお送りし、定期的な報告もあわせて行っている。また金銭管理や健康上の報告・相談に関しては必要に応じて電話や手紙等で行っている。	0	
		15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人内に相談窓口を設け意見や不満、苦情を表せるようにしている。ご家族より頂いた意見や不満、要望に関しては真摯に受け止め、職員全員がその問題を共有し、問題の改善・向上に努めている。またご家族来訪時には、話しかけやすい雰囲気作りに努めている。	0	
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全職員参加のミーティングや個別に意見や提案を聞く機会を随時設けている。	0	
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況変化等にも対応できるように、勤務表作成前に全職員の希望を聞き、一月を通して安定したケア、かつ安全安楽な生活支援が行えるよう調整に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18 外部 評価 10	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者との馴染みのある支援関係を作る為に、特別な理由がない限り異動は行っていない。又、離職を最小限に抑えられるように管理者、全職員間でコミュニケーションを図っている。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	0	
	5 人材の 育成と 支援	19 外部 評価 11	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用にあたり特別な選考等は行っていない。事業所の職員に関しては個々の能力の把握に努め、長所を伸ばせるような支援・指導を行っている。 又、職員が意見、提案をしやすい環境作りに努めている。配属に関しては、ユニットの状況等を考慮して行っている。	0	
		20 外部 評価 12	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権教育啓発を学ぶ為に、地域での勉強会に参加し、それをもとに内部でも勉強会を行っている。	0	
		21 外部 評価 13	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	OJTを含め、法人内の事業所と合同でのテーマ別勉強会や新人研修等を行っている。又、外部の研修を有効活用し、勤務を調整しながら職員の適性に合わせ参加させている。その研修内容をフィードバックしながら職員の質の向上に努めている。制度の改正・変更などは、その都度情報提供を行っている。	0	
		22 外部 評価 14	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福岡県GH協議会主催の研修に参加したり、ブロック内での研修や意見交換の場を活用し交流を図っている。又、事業所主催の餅つき会等に他の施設の利用者さんや職員を招き交流している。研修での内容は全職員にフィードバックするようにし、サービスの質の向上に努めている。	0	
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩が取れる時間や場所を設け、息抜きが出来るようにしている。又、職員同士の食事会なども開き、ストレスの軽減に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	夏季、冬季のボーナスは職員個々の自己評価を行い、その評価を反映している。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼 に向けた関係作りと支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりと その対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前には必ずご本人とお会いし不安な点や要望等をご本人が安心できるまで傾聴している。かかり合いの中で、サービス利用時にスムーズに利用して頂ける為にコミュニケーションを取らせて頂いている。	0	
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族からの相談にはその都度時間をかけて対応している。ハウスでの生活や過ごし方実際のケアの方法等をお話することで、ご家族の不安が少しでも軽減できるように努めている。	0	
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時ご本人、ご家族の要望や不安な点を時間をかけて傾聴している。その中で主訴を見極め必要な支援を行っている。	0	
		28 外部 評価 15	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前には必ずご本人とお会いし可能であればご本人にハウスでお茶を飲んで頂いたりしている。ご本人の意向を大切に不安なくハウスを利用していただけるようにしている。又、入居から暫くはご本人の不安軽減の為にご家族にご協力を頂き、電話や面会等を可能な限りお願いしている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0		
係り2 継続 これ までの 関係 づく り の 支 援	29 外部 評価 16	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ケアプラン作成時には必ずご本人の意向をお伺いしている。日常生活の中で職員が入居者さんよりこれまでの人生経験の中で培った物を学ばせて頂いている。常に職員は生活を共にするパートナーである事を意識して支援にあたっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	定期的開催している家族会のみならず、ご家族来訪時には職員から積極的にお声を掛けている。時には入居者さん、職員と一緒にお茶や食事をして頂きハウスでの生活を体験していただいたりする事で共に支えあう関係作りに努めている。	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族には常に近況の心身の状態、言動を報告し会話や行動を共にされる際に行き違いや思いがすれ違わないように支援している。必要に応じては代弁している。	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時に予めご家族より交友関係をお伺いし、ご本人の希望に出来る限り添えるような支援をしている。手紙や電話等、ご本人の望まれる支援をしている。又、ご本人にとって望ましくない相手である事も考えられる為判断に困った場合はその都度ご家族にご相談している。	0	
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	普段の座席、食事などの際も相性を考慮し支援している。また、アクティビティの際もグループ分けには十分な配慮をしている。入居者同士で居室にてお話しやお茶をされてる際には事故のないよう見守りのみ行い、お互いの関係を尊重できるような支援をしている。	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	管理者や担当者が機会を見て連絡を取ったり訪問する等している。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	0	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1	35 外部 評価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成時にはご本人やご家族の意見要望を伺い、それを反映出来るように努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族からの聞き取り、又は添書等により情報を把握し、職員間でも共有している。	0	
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の生活記録に午前、午後、夜間の記録を記入し、全職員が目を通すようにしている。月1回ケアカンファレンスを開き、情報を共有している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回ケアカンファレンスを開き意見、問題点等を出し合い検討している。ご家族の来訪時、遠方のご家族には手紙、電話で意見要望を伺い反映している。また立案時には、ご本人に「どのような暮らしをしたいか」など意見を伺っている。	0	
		39 外部評価19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプラン実施期間1ヶ月前に見直しを行っている。心身の状態に変化が生じた時にはその都度話し合い見直しをしている。	0	
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録にケアプランをはさみ、実施し記録に残している。ケアプランチェック表を作成し、実践確認出来るようにしている。月1回のケアカンファレンスでケアの効果や状態等を全職員が理解出来るようにしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	他科受診、入院の付き添い、家族の宿泊希望要望等がある時は出来る限り柔軟な支援をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	0	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域教会ボランティアによる歌の会を開き、定期的に交流を図っている。自治会行事（運動会、敬老会等）に積極的に参加し交流に努めている。またハウス主催の餅つき会に近隣の方の参加を呼びかけ参加して頂いている。	0	
	4		本人がより良く暮らし続けるためのケアマネジメント			
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	現在は他のサービスを希望されるご家族がおられず利用はしていないが、今後のために様々な機関、ケアマネージャー等と情報交換している。	0	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域推進会議を2ヶ月に1回開き、地域包括センターへの参加をお願いをしている。会議にてアドバイスを頂き、日々のケアに活かしている。	0	
		45	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所のかかりつけ医の他に、ご本人・ご家族が希望される場合は、希望の医療機関に受診出来るように支援している。「医療連携日報」を記入し日々の心身状態を把握し医師、看護師と連携を図っている。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	原則として受診往診時に相談、報告を行っているが、それ以外にも電話やFAXにて相談している。	0	
	47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	受診日以外にも相談している。「医療連携日報」に看護師も目を通して頂いている。	0		



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	職員、ご本人、ご家族、かかりつけ医と話をし決めている。他の医療機関に入院した際にはスムーズに対応できるよう入居者情報を準備し、また病院に行き話し合いをさせて頂いている。	0	
		49 外部 評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居される際にご本人、ご家族の終末期に関するケアの意向を伺い、書面化している。重度化に伴いADLの低下に合わせ家具の配置等状況に応じた支援を行っている。終末期、重度化された方のご家族の来訪時に状況を報告し相談している。又、かかりつけ医との話し合いの場を設けている。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々職員間又、医師と相談しチームとしてのケアの実施が行えるようにカンファやケアプランの見直し等で準備し実践している。変化に備え、医師、看護師と協力をしている。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご家族との話し合いの場を設け、関係機関との情報交換により、ご本人の心身の安定とご家族の不安軽減に努めている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	0	
		52 外部 評価 23	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
			<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入浴、排泄等の際にはカーテン、タオル等を使用しプライバシー保護に努め、ご本人が気分を害されないような声掛けや対応を行っている。記録や個人情報の管理には細心の注意を払っている。	0	
53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人の意思を大切にす為、食事のメニューや衣類等選びやすいよう選択肢を絞って選んで頂いたり、ご本人の好みをメニューに取り入れている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、就寝、入浴、食事時間など、極力入居者それぞれの希望・生活ペースに添えるよう支援している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	地域の美容室に来て頂いている。ご本人より要望の店があれば出来る限りの支援をしている。	0	
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節を感じて頂く為に、旬の食材を取り入れている。また、個々の好き嫌いを把握しその際には別の物を提供している。外食に出かけ喜びや楽しみを感じて頂いている。個別に食事形態を考慮している。入居者さんに野菜切りや漬物等を作って頂いている。	0	
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好みの物をお出したり、お菓子作りを入居者の方と一緒にいき、喜びや楽しみを感じて頂いている。	0	
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンや習慣を把握しトイレの声掛けは自尊心に配慮し行っている。声掛けはご本人の気分を害さない、また分かる言葉(こよう、はばかり等)で行っている。	0	
		59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご本人に希望を伺い、その時間に入浴して頂いている。体調に合わせた入浴支援を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1時間おきに巡視を行い、灯りがある方が安心できる方は電気を付けたり、今まで使用していた布団等を使用して頂いている。また、特に就寝時間を決めていない。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごとや気分転換できる事などを支援している。	0	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望がある方はご自分でお金を所持して頂いている。要望があった場合には近所の店で希望の物を買って頂けるよう支援している。	0	
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、ドライブ、外出に出掛ける事ができるよう支援している。	0	
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外食、花見、野球観戦等、季節に応じて出掛ける機会を作り支援している。	0	
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由に使用できるような所に設置し、掛ける事ができない場合でも要望があれば職員が番号を押す等して支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	いつでも家族、知人等の訪問が出来るようしている。面会時間の制限を設けていない。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	0	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営者及び全職員が身体拘束の対象となりうる行為を認識しており、身体拘束を行わないケアを実践している。	0		
		68 外部評価29	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全職員が居室や日中玄関を施錠する事の弊害を理解し、鍵を掛けないケアを実践している。ただし、安全管理の為夜間、早朝、緊急時は玄関の施錠を行っている。	0		
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者さんが集まるリビングは職員が必ず1人居るようにし、安全確認に努めている。常に入居者さんの人数を確認し把握している。また、夜間は1時間毎に各居室を巡視している。(入居者さん了承の上)	0		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	1人ひとりの状態に応じて危険を防ぐ取り組みを心掛けている。刃物等の保管場所、数は職員が把握しており、使用される際は傍に付き見守りをしている。台所の包丁、はさみは使用後に数を確認し、記録に残している。	0		
		71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	1人ひとりのリスクに対して全職員が情報提供を行い、観察と見守りを行っている。転倒などが考えられる入居者さんの原因を分析し、ペットやタンス等の配置を変えリスク軽減に努めている。また、定期的話し合いの場を設けている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時の対応マニュアルを作成している。また、定期的に勉強する場を設け、全職員が救命救急講習を受講している。	0	
		73 外部 評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	事業所として自衛消防隊を組織し、年2回消防訓練を実施し(内1回は消防署立会い)、勉強会も開催している。また、地域自治体主催の防災訓練にも参加し、地域の方や消防団の方とも交流を図っている。	0	
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	状況変化があった時や起こり得ることについては管理者よりご家族へ説明し、意見交換を行っている。また、事故が起こりやすい時間帯を把握し、事故を未然に防げるよう環境作りに努めている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	1人ひとりの体調変化や異変に気づくよう各職員が観察を行い、変化があればその都度記録に残している。記録は全職員が目を通し情報を共有している。申し送りボードを活用し情報の漏れがないように努めている。急変時対応マニュアルを作成し対応できるようしている。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師からの処方薬は全て職員が管理し医師の指示に従い服用して頂いている。状態変化があればすぐに医師に連絡をとり指示を仰いでいる。また各入居者さんの担当職員が薬の目的や効果等を一覧表にし、全職員がファイルを見て理解出来るようにしている。(医療連携日報の活用)	0	
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	野菜、海藻、乳製品等をメニューに多く取り入れ便通が良くなるように工夫している。食後にコーヒーを出したり、乳酸菌飲料を勧め水分量に気をつけている。また、入居者さんがいつでも飲めるようポットの中にお茶を入れテーブルの上に置いている。散歩、買い物等体を動かす機会を提供している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯磨き時、声掛けのみ行う方、磨き残しのみを介助する方と個人の能力に合わせて口腔内の清潔を保っている。義歯を使用している方は就寝時に外して頂き、週1回ポリドント消毒を行っている。イソジンの活用や治療の必要な方は歯科往診を受けている。	0		
		79 外部評価 31	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は入居者さんと同じ食事、場所で食べる事で食事量や状態を把握しており変化があれば記録に残している。水分はこまめにとって頂けるような働きかけをしている。状態に応じてエネルギー補給のゼリー等を摂って頂いている。又、持病等により食事の内容や量を調整し健康管理に努めている。(誤嚥しやすい...とろみなど)	0		
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成しており感染症対策に努めている。流行時、前に勉強会を開き職員の意識を高めている。また、ノロウイルス対策としては汚物処理道具と消毒液を準備し備えている。随時、各職員でシュミレーションを行っている。	0		
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮な食材を使用することを心がけ食材の賞味期限は毎回確認している。また調味料等は開封した日付を記入している。包丁、まな板等は毎回使用後に消毒を行っている。遅く食事を取られる方には、保存方法にも気をつけ再度火を通してから提供している。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前には花や野菜を入居者さんと一緒に植え開放的な空間にしている。日中は施錠していない為、御家族も訪問しやすい雰囲気になっている。	0		
		83 外部評価 32	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節折々の花を飾り季節感を感じてもらっている。入居者さんに花生けをしてもらい、また行事(お正月、ひな祭り、五月節句、七夕等)にはリビングに飾り付けをし、季節感を目でも味わってもらっている。音、光の調整に気を配り職員は大きな声、走る等の言動に注意している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の和室にソファを置き、テレビや音楽鑑賞等のくつろげる空間作りをしている。又入居者さん同士の相性を考え座席配置に気を配り特定の場所を好まれる方に対しては出来る限りその場所を確保し安心できるよう工夫している。	0		
		85 外部評価 33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具、写真、寝具等を持ち込んで頂き、安心して心地よく過ごせるような支援をしている。	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	起床時と日中に窓を開け換気を行っている。温湿度計を設置し快適な状態を保ち必要に応じて加湿器等を使用している。(冬場は居室に乾燥防止のぬれたタオルを掛けている)また、在室中にはエアコンの温度はこまめにチェックしている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレに手摺を設置し歩行、移動しやすいようにしている。またリビングの洗面台には跳ね上げ式手摺を設置し車椅子移動や入居者さん同士のすれ違いが安全なようにしている。入居者さんが移動しやすい動線を確保している。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	職員は一人一人の認知度を把握し「受け入れる」(否定しない)、「待つ」の姿勢で接しその方に合った安心できる声掛けで対応している。居室の見やすい位置に表札を付け、目印になるような物をつけたりと居室、トイレ、浴室等認識しやすい工夫を施し、出来る限り自立して暮らせる工夫をしている。	0		
89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダにプランターを置き季節の花や野菜を植えたり、水やりをして楽しんで頂いている。玄関前も同様にし、天気の良い日に日光浴をしながら花を見たして楽しんで頂いている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。